

教科名	理科	週時間数	3時間	学年	1年
使用教科書 副教材等	教科書 「未来へひろがるサイエンスI」 啓林館 副教材 「理科の完全学習」 正進社 最新「理科便覧」 浜島書店				

教科のねらい	自然の事物・現象について、できるだけ身近な例を挙げて自然に対する関心を高め、モデル化によって基本的概念や原理・法則をわかりやすく表し、基礎・基本の定着を図る。観察・実験を行う際には、目的意識を持たせて結果からの考察を行う中で、その規則性や法則を見だし、発見に気づき、まとめる能力の育成を図る。		
授業の進め方	授業は教科書だけでなく、ワークブックで問題練習をしたり、プリント等の利用や4人組を基本とした「話し合い活動」を取り入れたりして理解を深めていく。また、定期的な単元テストを実施する。実験・観察は班別で行い、全員が関われるようにする。		
定期考査	出題方針	授業中に行った内容を中心に、観点別の問題を出題する。 「知識・技能」については、授業で行った実験を中心に目的や安全に行う注意点、現象の結果について、数値の算出方法についての問題を出題したり、自然の事物・現象についての基本的概念や原理・法則の理解や重要語句の意味を問うものを出題する。 「思考・判断・表現」に関しては、基本的概念や原理・法則を説明するような科学的な見方や考え方の問題を出題する。	
	範囲 (予定)	1学期中間	自然の中にあふれる生命 いろいろな生物とその共通点
		1学期期末	いろいろな生物とその共通点
		2学期中間	身のまわりの物質
		2学期期末	光・音・力による現象
		学年末	活着ている地球
	主体的に学習に取り組む態度	授業の様子と振り返りシート、自己評価、レポートワークシートのまとめ方、定期テスト直し他	
	思考力・判断力・表現力	発言・発表、授業の様子、レポート、単元小テスト、定期テスト他	
知識・技能	発言・発表、授業の様子、レポート、技能テスト単元小テスト、定期テスト他		
学習方法 (先生からのアドバイス等)	授業で他者と聴き合い、課題についての自分の考えを深める。授業では「なぜそう考えたか」を大切に、根拠の説明を通して自分の意見を深めると共に、他者に思考の道筋を理解させる。定期的な問題演習を行い、基本的な問題に対しての力をつける。評価については、評価方法や授業への取り組み方、勉強の仕方、テストの取り組み方やレポートのまとめ方など具体例を挙げた説明を授業の中で行う。		

学期	月	単元	学習内容 ○は、予定時間数	学習のポイント
1	4	オリエンテーション	理科の授業等の説明	
		自然の中にあふれる生命	自然観察のポイント① 身のまわりの生物の観察④ 生物のなかま分けのしかた④	<ul style="list-style-type: none"> ルーペ・顕微鏡を使って観察できる。 正しくスケッチし、観察結果を記録できる。 生物の仲間分けについて粘り強く探求できる。
	5	いろいろな生物とその共通点	植物の特徴と分類⑦	<ul style="list-style-type: none"> 植物の花・葉・根のつくりを判別できる。 植物を分類することができる。
	6		動物と特徴の分類⑨	<ul style="list-style-type: none"> 背骨のある動物、ない動物を知る。 動物を分類することができる。
	7	身のまわりの物質	いろいろな物質とその性質⑦	<ul style="list-style-type: none"> ガスバーナーを使うことができる。 物質を分類することができる。 密度を求めることができる。
2	9	光・音・力による現象	いろいろな気体とその性質⑤	<ul style="list-style-type: none"> 酸素・二酸化炭素・窒素・水素・アンモニアの性質を説明できる。
	10		水溶液の性質⑥	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液の濃度を計算で求めることができる。 溶解度曲線を読みとることができる。
	11		物質のすがたとその変化⑥	<ul style="list-style-type: none"> 状態変化での温度と体積の関係を説明できる。 蒸留の実験を行うことができる。
	12		光による現象⑧ 音による現象⑤ 力による現象⑨	<ul style="list-style-type: none"> 光の進み方を説明できる。 凸レンズのはたらきを説明できる。 音が伝わるしくみを説明できる。 力の種類を判別し力を矢印で表すことができる。 フックの法則の実験を行うことができる。 力がつり合うしくみを説明できる。
3	1	活きている地球	身近な大地③ ゆれる大地④	<ul style="list-style-type: none"> 地震が起きるしくみや影響を理解する。 地震に関する計算ができる。
	2		火をふく大地⑦	<ul style="list-style-type: none"> 火山のでき方と特徴を説明できる。 火成岩を分類することができる。
	3		語る大地⑥	<ul style="list-style-type: none"> 地層のでき方を説明できる。 堆積岩を分類することができる。 地層から年代や環境を推定することができる。
			1年のまとめ	